

地区名：富田地区

実施主体：富田地区むらづくり運動推進協議会

1 基本データ

- 地区人口 2,893人 (R2.4.1現在)
- 世帯数 918世帯
- 行政区数 18行政区
- 面積 約21.7平方キロメートル
- 地区の沿革

富田地区は、東は九頭竜川、西は真名川の二大河川に挟まれ、日本百名山に数えられる荒島岳のふもとから、東西約4km南北約7kmに細長く広がる純農村地帯である。



2 現状と課題

富田地区むらづくり運動推進協議会では、市民憲章を基調とし、富田地区の将来にわたって明るく豊かな地域の実現を図るため、地区住民が、自らの手による活気ある地域づくりの推進に努めている。

協議会では、「花いっぱい運動」などの環境美化活動や「とみた夏まつり」、「文化講演会」の企画運営などを中心に活動を行い、住民が集い活動する場や交流の場を作り出している。

しかしながら、協議会の構成団体のなかには活動が低下し、活動が休止したり解散したりする団体も出てきている。

また、各集落においては、区長を中心に様々な地域づくり活動を行っているが、一部の集

落で、人口減少や少子化、高齢化の影響を受け、役員の担い手がおらず、集落機能の低下がみられる。



とみた夏まつり「みんなで踊ろう大野音頭」

3 事業の内容

【令和2年度の取り組み】

「地域づくり・地域コミュニティ活性化事業」

「コミュニティ施設維持管理事業」

実施行政区：上野区、蕨生区、新河原区、塚原区

令和2年度は、これまで実施してきた、自治会が行う「地域づくり・地域コミュニティ活性化事業」や、それぞれが抱える問題を住民自らが解決する協働作業に対して支援をする「地域コミュニティ活動支援事業」を継続することとし、区民の安全な生活や利便性の向上、集落活動の活性化を目的として4集落が取り組んだほか「地域づくり、地域活性化事業」として、富田地区むらづくり運動推進協議会で行っている「とみた夏まつり」への支援を行うこととした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、「とみた夏まつり」は中止となり、自治会が行う事業への支援のみとなった。

①地域づくり・地域コミュニティ活性化事業

(実施行政区) 上野区

(実施内容)

- ・地区内の日上がり公園には、区民自らが植栽した50本の桜並木と、7,400(株)の芝桜があり、毎年4月には幼児・子供から高

年齢までの区民が一堂に会し、昨今、近況を語り合うなど親睦を深めている。今年度からは、新たに夜桜を楽しむためのライトアップを行い、さらなるコミュニティの醸成を図った。



日上がり公園桜並木



LEDイルミネーションチューブライト



ライトアップ

②コミュニティ施設維持管理事業

(実施行政区) 蕨生区

(実施内容)

- ・蕨生集落センターは、年2回の総会や里神楽の練習を中心に区民の会合等に活用されている。

しかしながら、総会には140人の地域住民が出席するため、駐車場が不足している。区民協力のもと、集落センター周辺の環境整備と利便性向上のための駐車場整備を行った。



整備前



整備中



整備完了

③コミュニティ施設維持管理事業

(実施行政区) 新河原区

(実施内容)

・集落共同作業場前の未舗装部分を区民共同で整備することで、環境整備と利便性の向上を図った。



整備前



整備中



整備中



整備完了

④コミュニティ施設維持管理事業

(実施行政区) 塚原区

(実施内容)

・平成5年「塚原ふれあい広場」が造成され、子供たちの遊び場、田休み事業等に使用しているが、現在のフェンスについては、長年の風雨にさらされて経年劣化し、破損が目立つ状態となっている。

平成28年、地域住民により約4割のフェンスを補修したが、残り6割のフェンスについても、破損等が進み危険な状態なため、地域住民により補修を行った。



実施前



作業中



作業完了

4 事業の成果

令和2年度の取り組みとして、1つ目は、住民のコミュニティの醸成と、地域活力を維持増進させるための、地域づくり、地域活性化事業の取り組みへの支援を行った。

住民が自ら企画運営することにより、地域活

動に参加することへの意識改革がなされるとともに、地域づくりに携わる人材の育成にも繋がっていく。

2つ目は、各集落で課題になっていることを住民自らが協働作業によりそれを解決する、地域コミュニティ活動への支援であり、それぞれの集落の課題やその解決策を地域で話し合い、実施することにより、区民の生活の利便性向上や安全な地域活動の確保、また、維持管理等の負担軽減を図るとともに地域コミュニティを深める環境整備が図られた。

これらの取り組みを通して、住民が自ら考え、行う地域づくりの大切さと地域コミュニティの維持向上を図ることが期待できる。

5 今後の展望

これらの取り組みを継続することにより、地域のことは自らで行うという意識の醸成と、集落の施設等の利便性の向上、また環境整備がなされることにより、これらの積極的な利用や活用による地域コミュニティの醸成と自主的で継続的な地域活動の取り組みに期待が持てる。

また地区民が集い、話し合い、物事を実施していく機会を継続することが、今後、地域が残っていくためには、大切な取り組みであると考ええる。

今後もこれらの事業を継続していくことにより、希薄となっているコミュニティの醸成がはかられ、引いては富田地区全体の活力に繋がっていくと考える。